

「宇都宮市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）後期計画」（素案）に関する  
パブリックコメントについて

1 パブリックコメントの実施状況

(1) 意見の募集期間 令和2年12月25日(金)～令和3年1月25日(月)

(2) 意見の応募の応募者数 3者（意見数16件）

(3) 提出方法の内訳

	郵送	ファクシミリ	Eメール	持参	計
人数			2	1	3

2 意見の対応状況

区分	内容	件数
A	意見の趣旨等を反映し、計画に盛り込むもの	5
B	意見の趣旨等は、計画に盛り込み済みと考えるもの	6
C	計画の参考とするもの	2
D	計画に盛り込まないもの	0
E	その他、要望・意見等	3
合計		16

3 意見の概要と市の考え方

(1) 計画の概要に関するもの

No.	意見の概要	区分	意見に対する市の考え方
1	「策定の趣旨」の項目において、社会変化を反映するため、以下の内容を追加するべきと考えます。 「国から2050年カーボンニュートラル宣言が出され、温室効果ガス削減の要求が強まっています。」	A	計画策定の背景として、国のカーボンニュートラル宣言は重要であることから、ご意見の内容を踏まえ、追加いたします。

(2) 現状と課題に関するもの

No.	意見の概要	区分	意見に対する市の考え方
2	<p>「廃棄物処理に伴う温室効果ガス排出量は、概ね横ばいで推移しています。」とあるが、この排出量は、カーボンニュートラル分が除かれているのか。そうであればその旨の注記が必要かと思えます。</p>	<b>B</b>	<p>廃棄物発電のうち約 6 割のカーボンニュートラル分は除かれておりません。</p>
3	<p>「気候変動による影響についての本市の課題において、本市は全国平均を上回る気温の上昇等がみられ、～」とありますが、宇都宮市 (+2.0℃) が全国 (+1.1℃) 比で気温上昇が大きい理由はヒートアイランド現象によるものです。</p>	<b>E</b>	<p>都市化が進んでいる中心市街地等では、ヒートアイランド現象による影響も考えられるため、まちなかにおけるミストシャワーの整備など、ヒートアイランド現象の緩和に寄与する取組についても推進してまいります。</p>
4	<p>「前期計画の温室効果ガス排出量の削減目標 27% (2013 年度比) に対し、最新値 (2017 年度) は約 4% の増加」と表現されていますが、誤解を招く恐れがあるため、下線部を追加すべきである。</p> <p>「前期計画の温室効果ガス排出量の削減目標 <u>2030 年度で 27% 減</u>、<u>2020 年度で 11.6% 減</u> (いずれも 2013 年度比) に対し、最新値 (2017 年度) は約 4% の増加」</p>	<b>A</b>	<p>正確な表現とするため、下線部を追加いたします。</p>

5	<p>①人口や工場出荷額等の活動量で算定 (2030年度 ▲0.5万 t-CO<sub>2</sub>)</p> <p>②省エネ対策の成果を推定 (2030年度 ▲110万 t-CO<sub>2</sub>)</p> <p>③本市独自の事業成果を吸い上げる (2030年度 ▲10万 t-CO<sub>2</sub>)</p> <p>温室効果ガス排出量は、上記①～③の合計値と捉えていますが、最新値(2017年度)の約4%の増加は、上記の①だけの算定になっていないでしょうか。(宇都宮市は家庭部門・運輸部門で増加したと総括していますが、日本全体でみると、総量でも、家庭部門・運輸部門でも減少傾向が見られます。宇都宮市の特異現象なのでしょうか。)</p>	<p>最新値は、①～③の合計値として います。</p> <p>宇都宮市における温室効果ガス 排出量の増加について、家庭部門の 要因は、単身世帯や核家族世帯の増 加に加え、直近まで人口自体も増加 傾向であったことが挙げられます。</p> <p>また、運輸部門については、走行 距離が大きく増加したことなどが 影響しています。</p> <p>このような客観的なデータの把 握・分析により、本市の現状と課題 を分析しております。</p>
---	--	---

(3) 温室効果ガス排出量の目標値に関するもの

No.	意見の概要	区分	意見に対する市の考え方
6	<p>2030年度温室効果ガス排出量の削減 目標は2013年度比27%となっていま すが、国や県の2050年の目標は実質ゼ ロであるため、2030年度の削減目標は 少なくとも50%とし、それに見合った 施策の設定をお願いします。</p>	C	<p>地球温暖化対策を推進するため には、地域全体で地球温暖化問題 を認識・共有すること、そして、何 よりも具体的に行動を実践するこ とが重要であることから、本計画 では、具体的な施策事業とこれら の施策事業による温室効果ガス排 出削減目標など、具体的な裏付け を持った実行性・実現性のある目 標として2013年度比27%削減を 掲げております。</p> <p>なお、現在、国におきまして、 2050カーボンニュートラルに向け た革新的技術の研究開発・実証等 の検討を行っていることから、こ うした動向等を踏まえ、本市にお ける温室効果ガス排出量のより一 層の削減を図る取組や目標設定等 についても検討してまいります。</p>

(4) 分野別の施策に関するもの

No.	意見の概要	区分	意見に対する市の考え方
7	<p>施策内容の詳細を見ると、促進や推進という表現が多く見受けられ、具体的に何を実施するのか不明なため、評価・検証できないのではないかと考えられます。</p> <p>具体策の実施結果を直接 CO<sub>2</sub>のデータで確認できないのかもしれませんが、評価可能な数値目標をもつことがPDCAを実践するためには必要です。</p> <p>今後、施策は測定・評価ができるより具体的な内容にされるとよい。</p>	B	<p>構成事業に係る毎年度の事業評価（行政評価）において、具体的な活動量を把握し、客観的な評価に努めているところであります。</p> <p>ご意見の内容を踏まえて、引き続き、施策の適切な評価・検証を行ってまいります。</p>
8	<p>「電気自動車等の普及促進」とありますが、栃木県は家庭から出るCO<sub>2</sub>のうち自家用車比率が全国比で高い傾向にあります。台数の削減、ハイブリット・電気自動車への転換は重要なテーマです。</p>	E	<p>ご意見の内容を踏まえ、課題となっている運輸部門への対策を強化し、自動車由来の温室効果ガス排出量の削減に努めてまいります。</p>
9	<p>世帯構成（単身世帯増）が変化する中、温室効果ガス排出量の指標を「1世帯あたり⇒市民1人あたり」に変更したのは適切だと思えます。</p> <p>ただし、前期計画にあった「省エネ」がなくなったのは残念です。誰もが参加できる省エネは基本になると思えます。</p>	B	<p>今回の計画の見直しにおいて、施策の実効性をより高めるため、省エネから低炭素化という表現に統一を図りました。</p> <p>一方で、省エネに取り組むことによって低炭素化が図られることを明確にするため、施策の趣旨の説明において、「省エネ行動の実践に向けた普及啓発」という表現を明記しております。</p>
10	<p>前期計画にあった「バイオマス推進」が抜けています。バイオマスは、栃木県においても重視している分野で例示しておきたいと思えますが、宇都宮市においての具体化展望がなければ、削除もやむを得ないと思えます。</p>	B	<p>バイオマスの活用については、廃棄物分野における「資源循環利用の推進」において取り組んでまいります。</p>

11	<p>基本事業「市役所業務における温室効果ガス排出量の削減の推進」における下記の構成事業について、下線部の追加を提案する。</p> <p>「エネルギー利用設備に係る高効率化及び電源強靱化の推進」</p>	B	<p>市有施設における自立分散型エネルギーの導入推進については、基本事業「創エネ・蓄エネを活用した市有施設の低炭素化の推進」において、災害時の対応も視野に入れながら取り組んでまいります。</p>
12	<p>基本施策「創エネルギー・蓄エネルギーの利活用の推進」の説明文において、下線部の追加を提案する。</p> <p>「家庭等での太陽光発電システムや蓄電池、<u>家庭用燃料電池（エネファーム）</u>の導入を推進し、分散型電源の普及拡大をすることで、地球温暖化対策及び防災機能の強化を図ります。」</p>	A	<p>家庭における低炭素化の促進に向けて、具体的な取組を列挙している箇所であることから、ご意見の内容を踏まえ、追加いたします。</p>
13	<p>基本施策「創エネルギー・蓄エネルギーの利活用の推進」の説明文において、下線部の追加を提案する。</p> <p>「また、市有施設においては、地区市民センター等の地域防災拠点に太陽光発電システムや蓄電池、<u>コージェネレーションシステム</u>を設置することで防災機能の強化を図ります。」</p>	C	<p>市有施設におけるコージェネレーションシステムの導入につきましては、今後、本計画を推進していく中で検討させていただきます。</p>
14	<p>市内の全ての都市整備においてコージェネレーションによるエネルギーの合理的利用が重要であると考えため、以下を提案する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施策「環境負荷の少ない都市整備」の基本事業名に下線部を追加</li> <li>「地域・街区等における<u>コージェネレーションシステムによるエネルギーの合理的な利用の推進</u>」</li> <li>・構成事業「コージェネ等を活用したエネルギーの効率的利用の促進」の削除</li> </ul>	B	<p>エネルギーの合理的な利用はコージェネレーションシステムに限定されるものではないと考えております。</p> <p>そのため、コージェネレーションシステムも含めたエネルギーの合理的な利用を推進してまいります。</p>

(5) コラム・概要版に関するもの

No.	意見の概要	区分	意見に対する市の考え方
15	コラム「再生可能エネルギーの導入状況」のバイオマス発電の項で、クリークパーク茂原（7,500k w）とクリーンセンター下田原（3,500k w）のうちバイオマス約6割分は計上できるのではないのでしょうか。	A	クリーンセンター下田原及びクリーンパーク茂原における廃棄物発電のうちバイオマス発電について計上がされていなかったため、ご意見を踏まえて修正いたします。
16	概要版では、前期の評価と課題の抽出、後期計画の方向性、施策体系が関連付けてまとめられており、全体像がわかりやすくなっておりよい。 ただし、適応策は課題と後期計画の方向性と施策が対応しているが、緩和策は施策体系に明示されていないように思われるので、改善されるとさらにわかりやすくなると思われます。	A	ご意見の内容を踏まえ、緩和策における課題と後期計画の方向性、施策体系へのつながりがわかりやすくなるよう見せ方の工夫を図ってまいります。